

1. 令和6年度事業活動収支計算書

(決算規模888億円)

1. 基本金組入前当年度収支差額においては、5億3,600万円の収入超過となりました。
2. 基本金組入額を121億6,500万円計上しました。

(単位:千円)

No.	科目	予算	決算	差異
1	学生生徒等納付金	28,265,344	28,552,837	△ 287,493
2	手数料	1,168,491	1,270,568	△ 102,077
3	寄付金	634,561	772,310	△ 137,749
4	経常費等補助金	6,541,095	6,531,068	10,027
5	付随事業収入	1,202,841	1,145,451	57,390
6	医療収入	46,486,727	42,123,249	4,363,478
7	雑収入	1,779,485	2,118,577	△ 339,092
8	教育活動収入計	86,078,544	82,514,060	3,564,484
9	人件費	40,607,669	43,414,656	△ 2,806,987
10	(うち退職給与引当金繰入額)	(2,466,795)	(3,100,060)	(△633,265)
11	教育研究経費	41,545,361	40,033,353	1,512,008
12	(うち減価償却額)	(6,315,605)	(6,371,778)	(△56,173)
13	管理経費	4,414,208	4,298,610	115,598
14	(うち減価償却額)	(408,557)	(412,927)	(△4,370)
15	徴収不能額等	0	3,803	△ 3,803
16	教育活動支出計	86,567,238	87,750,422	△ 1,183,184
17	教育活動収支差額(8-16)	△ 488,694	△ 5,236,362	4,747,668
18	受取利息・配当金	959,911	2,024,895	△ 1,064,984
19	その他の教育活動外収入	50,000	50,000	0
20	教育活動外収入計	1,009,911	2,074,895	△ 1,064,984
21	借入金等利息	126,424	126,305	119
22	その他の教育活動外支出	0	0	0
23	教育活動外支出計	126,424	126,305	119
24	教育活動外収支差額(20-23)	883,487	1,948,590	△ 1,065,103
25	経常収支差額(17+24)	394,793	△ 3,287,772	3,682,565
26	資産売却差額	0	2,803,559	△ 2,803,559
27	その他の特別収入	393,130	1,375,329	△ 982,199
28	特別収入計	393,130	4,178,888	△ 3,785,758
29	資産処分差額	0	330,591	△ 330,591
30	その他の特別支出	9,926	24,361	△ 14,435
31	特別支出計	9,926	354,952	△ 345,026
32	特別収支差額(28-31)	383,204	3,823,936	△ 3,440,732
33	[予備費]	(100,680)		279,736
34	基本金組入前当年度収支差額(25+32-33)	498,261	536,164	△ 37,903
35	基本金組入額合計	△ 18,864,802	△ 12,165,126	△ 6,699,676
36	当年度収支差額(34+35)	△ 18,366,541	△ 11,628,962	△ 6,737,579
37	前年度繰越収支差額	△ 32,105,893	△ 26,100,934	△ 6,004,959
38	基本金取崩額	0	21,064	△ 21,064
39	翌年度繰越収支差額(36+37+38)	△ 50,472,434	△ 37,708,832	△ 12,763,602
40	事業活動収入計(8+20+28)	87,481,585	88,767,843	△ 1,286,258
41	事業活動支出計(16+23+31+33)	86,983,324	88,231,679	△ 1,248,355

経常的な収支のうち、本業の教育活動の収支を見ることができ、6年度は52億3,600万円の支出超過となりました。予算に対して医療収入が43億6,300万円、教育研究経費が15億1,200万円減少した一方で、人件費が28億700万円増加しました。

経常的な収支バランスを見ることができ、6年度は32億8,800万円の支出超過となりました。

資産売却や施設・設備関係の補助金等の臨時的な収支を見ることができ、6年度は38億2,400万円の収入超過となりました。

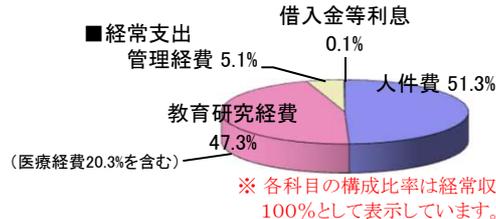
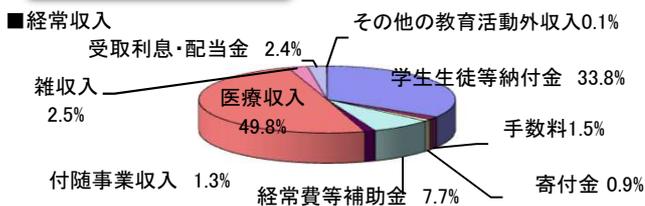
良好な教育・研究・医療環境を維持するための施設・設備等の額であり、予算に対して施設関係支出が減少したことにより減少しました。

経常的な収支のうち、財務活動の収支を見ることができ、6年度は19億4,900万円の収入超過となりました。

毎年度の収支バランスを見ることができ、6年度は5億3,600万円の収入超過となりました。

基本金組入前当年度収支差額から基本金組入額を控除したものです。6年度は116億2,900万円の支出超過となりました。

経常収入に対する比率



【事業活動収支決算の概要(予算との比較)】

(注: ↑…増加を示す ↓…減少を示す)

《収入の部》

《支出の部》

- No. 6 医療収入 ↓ 福大病院・筑紫病院の入院患者数の減少、入院診療単価が予算を下回ったため。
- No. 18 受取利息・配当金 ↑ 債券運用等の受取利息の増加。
- No. 26 資産売却差額 ↑ 投資信託の売却差益

- No. 9 人件費 ↑ 人事院勧告に伴うベースアップ(2.76%)および賞与(0.1ヶ月)の増加。
- No. 11 教育研究経費 ↓ 福大病院・筑紫病院の医療経費(薬物・医療材料)の減少。

- ・ No. 34基本金組入前当年度収支差額は、5億3,600万円の収入超過となり、事業活動収支差額比率は0.6%となっています。
- ・ 人件費比率は51.3%となり、前年度より1.4ポイント高くなっています。

2. 令和6年度資金収支計算書

(単位:千円)

《収入の3本柱》

学生生徒等が納める授業料や入学金などのこと。聴講料や補講料も含まれます。

国や地方公共団体などからの助成金です。

福岡大学病院、筑紫病院、西新病院の医療収入です。

・長期、短期の貸付金の回収額
・税金等の預り金受入額
・特定の目的のために積み立てた資産を取崩した場合の収入額

収入の部				
No.	科目	予算	決算	差異
1	学生生徒等納付金収入	28,265,344	28,552,837	△ 287,493
2	手数料収入	1,168,491	1,270,568	△ 102,077
3	寄付金収入	677,293	840,141	△ 162,848
4	補助金収入	6,891,493	6,945,497	△ 54,004
5	資産売却収入	0	55,401,852	△ 55,401,852
6	付随事業・収益事業収入	1,252,841	1,195,451	57,390
7	医療収入	46,486,727	42,123,249	4,363,478
8	受取利息・配当金収入	959,911	2,024,895	△ 1,064,984
9	雑収入	1,779,485	2,144,237	△ 364,752
10	借入金等収入	100,000	100,000	0
11	前受金収入	5,242,369	5,587,274	△ 344,905
12	その他の収入	36,658,732	31,883,174	4,775,558
13	資金収入調整勘定	△ 15,448,552	△ 16,117,172	668,620
14	前年度繰越支払資金	26,128,472	26,836,351	△ 707,879
15	収入の部合計	140,162,606	188,788,354	△ 48,625,748

No. 23 資産運用支出と対応している。

翌年度に入學予定の学生生徒等から受け入れる授業料や入学金などです。

収入として計上したが未収となっているものや、前受金収入として前年度までに既に受け入れている収入を差し引くことにより、資金の収入額を調整するためのものです。

(単位:千円)

教職員に支払われる給与などのことです。

土地、建物、構築物などを取得するための支出です。

より良い教育研究サービスを提供するために資産を積み立てるための支出などです。

支出の部				
No.	科目	予算	決算	差異
16	人件費支出	40,560,324	43,019,179	△ 2,458,855
17	教育研究経費支出	35,229,756	33,821,235	1,408,521
18	管理経費支出	4,015,578	3,903,311	112,267
19	借入金等利息支出	126,424	126,305	119
20	借入金等返済支出	1,714,642	1,714,642	0
21	施設関係支出	7,930,695	2,842,996	5,087,699
22	設備関係支出	5,143,543	4,877,754	265,789
23	資産運用支出	4,271,111	57,682,287	△ 53,411,176
24	その他の支出	28,314,650	28,582,970	△ 268,320
25	[予備費]	(100,780) 280,220		280,220
26	資金支出調整勘定	△ 7,679,487	△ 6,785,492	△ 893,995
27	翌年度繰越支払資金	20,255,150	19,003,167	1,251,983
28	支出の部合計	140,162,606	188,788,354	△ 48,625,748

学生生徒等の教育・研究・医療のために支出する経費です。

総務、人事、財務、経理等の業務に要する経費、教職員の福利厚生のための経費などです。

教育研究用の機器備品、管理用の機器備品、図書などを取得するための支出です。

支出として計上したが未払となっているものや、前払金支払支出として前年度までに支払っている経費を差し引くことにより、資金の支出額を調整するためのものです。

(注) [予備費]は未使用額を表し、()内の金額は使用額を示す。

【資金収支決算の概要(予算との比較)】 (注: ↑…増加を示す ↓…減少を示す)

《収入の部》

《支出の部》

No. 5 資産売却収入 ↑ 有価証券の満期、早期償還、金銭信託および投資信託の売却。No. 23 資産運用支出と対応している。
No. 7 医療収入 ↓ 福大病院・筑紫病院の入院患者数の減少、入院診療単価が予算を下回ったため。
No. 8 受取利息
・配当金収入 ↑ 債券運用等の受取利息の増加。

No. 16 人件費支出 ↑ 人事院勧告に伴うベースアップ(2.76%)および賞与(0.1ヶ月)の増加。
No. 17 教育研究経費支出 ↓ 福大病院および筑紫病院の医療経費(薬物・医療材料)の減少。
No. 21 施設関係支出 ↓ 建物支出(福大病院:新診療棟改修工事、西新病院新病院(仮称)新築工事、大濠高校・中学校:ピロティ他耐震対策工事)を次年度以降に繰り延べたため減少。
No. 23 資産運用支出 ↑ 有価証券および金銭信託の購入。

[翌年度繰越支払資金]

・資金収支のてん末としての翌年度繰越支払資金は190億円で、前年度比78億円の減少となっています。

(令和6年度に取得した主な施設・設備)

- 福岡大学病院本館新築工事
- A棟内外装および非構造部材耐震対策工事
- 福大病院本館設備関係
SiPM搭載型PET/CT装置、ロボット支援手術システム、アドバンスインターベションシステム、超電導磁気共鳴画像診断装置(MRI)、手術映像配信システム、第V期統合医療情報システム、SPD棚、診断用CT搭載型SPECT装置、生体情報モニタ、NICU/GCUシーリングペンダント他

4. 貸借対照表

(決算規模2,736億円)

(単位：千円)

資 産 の 部			
科 目	本 年 度 末	前 年 度 末	増 減
固 定 資 産	243,068,239	244,418,611	△ 1,350,372
有 形 固 定 資 産	144,712,941	144,051,081	661,860
土地建物	24,653,532	24,690,930	△ 37,398
構築物	81,488,476	61,609,867	19,878,609
構築物	4,006,394	3,799,696	206,698
構築物	0	0	0
教育研究用機器備品	15,863,666	13,982,289	1,881,377
管理用機器備品	149,145	139,111	10,034
図書	17,003,174	17,021,259	△ 18,085
車両	41,353	55,363	△ 14,010
土地購入前渡金	161,985	605	161,380
建設仮勘定	1,345,216	22,751,961	△ 21,406,745
特 定 資 産	96,710,801	98,678,148	△ 1,967,347
第2号基本金引当特定資産	7,368,626	8,784,923	△ 1,416,297
第3号基本金引当特定資産	10,000,000	8,500,000	1,500,000
第4号基本金引当特定資産	6,270,000	6,006,000	264,000
その他の特定資産	73,072,175	75,387,225	△ 2,315,050
そ の 他 の 固 定 資 産	1,644,497	1,689,382	△ 44,885
電話加入権等	111,256	115,160	△ 3,904
収益事業元入金	787,289	787,289	0
貸付金	8,452	6,626	1,826
貸与奨学金	531,384	658,999	△ 127,615
預託金	70,927	70,927	0
差入保証金	48,393	48,393	0
長期前払金	86,796	1,988	84,808
流 動 資 産	30,507,850	37,126,669	△ 6,618,819
現金預金	19,003,167	26,836,351	△ 7,833,184
未収入金	10,788,618	9,794,256	994,362
材料	295,818	135,647	160,171
貯蔵品	4,821	3,839	982
立替金	4,037	15,925	△ 11,888
短期前払金	368,851	340,548	28,303
仮払金	42,538	103	42,435
資 産 の 部 合 計	273,576,089	281,545,280	△ 7,969,191

校舎、寮、体育館等の建物および建物附属設備(空調等)の額のことです。

将来の特定の目的のために使用する資産のことです。

現金およびすぐに引き出すことのできる預貯金のことです。

教育研究のために使用される機械設備等の額のことです。

学生生徒等に貸与している奨学金の額のことです。

決算日(3月31日)における補助金等の未収額のことです。

返済期限が1年を超えて到来する借入金のことです。

返済期限が1年以内に到来する借入金のことです。

6年度末に教職員全員が退職した場合に支払われる退職金の見積額のことです。

翌年度に入学する学生生徒等から受け入れた授業料や入学金等のことです。

負 債 の 部			
科 目	本 年 度 末	前 年 度 末	増 減
固 定 負 債	34,409,986	36,452,477	△ 2,042,491
長期借入金	14,615,366	16,230,008	△ 1,614,642
長期未払金	70,885	120,279	△ 49,394
退職給与引当金	19,723,735	20,102,190	△ 378,455
流 動 負 債	15,253,620	21,716,484	△ 6,462,864
短期借入金	1,714,642	1,714,642	0
短期未払金	6,498,348	13,113,318	△ 6,614,970
前受金	5,587,274	5,495,846	91,428
預り金	1,452,901	1,391,361	61,540
仮受金	455	1,317	△ 862
負 債 の 部 合 計	49,663,606	58,168,961	△ 8,505,355
純 資 産 の 部			
科 目	本 年 度 末	前 年 度 末	増 減
基 本 金	261,621,315	249,477,253	12,144,062
第1号基本金	237,982,689	226,186,330	11,796,359
第2号基本金	7,368,626	8,784,923	△ 1,416,297
第3号基本金	10,000,000	8,500,000	1,500,000
第4号基本金	6,270,000	6,006,000	264,000
第1号(施設・設備取得) 自己資金で購入した施設設備費の累計額。 第2号(計画組入) 将来の施設設備取得のための積立金。 第3号(各種基金) 奨学基金等として保持している金額。 第4号(運転資金) 恒常的に保持すべき資金の額(1カ月分の運転資金)。			
繰越収支差額	△ 37,708,832	△ 26,100,934	△ 11,607,898
翌年度繰越収支差額	△ 37,708,832	△ 26,100,934	△ 11,607,898
純 資 産 の 部 合 計	223,912,483	223,376,319	536,164
負 債 及 び 純 資 産 の 部 合 計	273,576,089	281,545,280	△ 7,969,191

事業活動収支計算書の当年度収支差額の累計額を表します。長期的な収支の均衡を判断する指標となります。

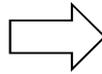
学校法人福岡大学の財政状態を分かりやすく見るために、それぞれを構成比で表しました。

※令和7年3月31日現在の財政状態

(貸借対照表の構造)

資産の部		負債の部
固定資産	有形固定資産	固定負債
	特定資産	流動負債
	その他の固定資産	純資産の部
流動資産		基本金
		繰越収支差額

※資産 = 負債 + 純資産



資産の部	負債の部	
有形固定資産 52.9	借入金等 8.9	負債 18.1
	退職給与引当金 7.2	
	前受金 2.0	
特定資産 35.3	純資産の部	
	第1号 87.0	基本金 95.7
その他の固定資産 0.6	第2号 2.7	
流動資産 11.2	第3号 3.7	繰越収支差額 △13.8
	第4号 2.3	

【貸借対照表の概要（前年度末との比較）】 (注：↑…増加を示す ↓…減少を示す)

(資産の部) 資産総額は79億7,000万円の減少。

- 現金・預金 ↓
福大病院本館新築工事費および設備購入の支払いに伴う減少。

(負債の部) 負債総額は85億500万円の減少。

- 短期未払金 ↓
福大病院本館新築工事の未払金の減少。

(純資産の部) 純資産総額は5億3,600万円の増加。資産総額に占める純資産（自己資金）の割合は81.8%で2.5ポイント増加。

- 第1号基本金 ↑
福大病院本館新築工事の組入れ。
- 第2号基本金 ↓
第1号基本金への振替。
- 第3号基本金 ↑
第3号基本金組入れ計画による組入れ。
- 繰越収支差額
翌年度繰越収支差額をマイナス377億円計上。

【学校法人会計の豆知識】

・学校法人は営利の追求を目的とする一般企業とは異なり、教育研究活動を目的とする公共性の高い法人です。

(1) 資金収支計算書

- ① 収入支出ごとに一覧表示になっており、予算管理に適した計算書です。
- ② 家庭でいえば家計簿のように現金預金の出入りを集計した計算書です。
- ③ 資金収支計算書を基に作成する「活動区分資金収支計算書」は、企業会計の「キャッシュフロー計算書」に似た性格を持ち、活動区分ごとの資金の流れを明らかにする計算書です。

(2) 事業活動収支計算書

- ① 企業会計の「損益計算書」に似た性格を持つ計算書であり、採算の取れた経営を行っているか、経営上赤字になっていないかを見る計算書です。
- ② 企業会計の「損益計算書」では計上対象とならない資本的支出が基本金組入額として計上されています。

(3) 貸借対照表

- ① 年度末における資産・負債・純資産を表します。
- ② 財政状態の健全性、必要資産の保有状況、今までの学校法人の活動を行ってきた積み重ねの結果を表します。